



令和 5 年 10 月 10 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
「産業 DX のためのデジタルインフラ整備事業」
**ドローンや空飛ぶクルマを支える3次元空間情報基盤
の実証実験を実施します**

新型コロナウイルス感染症対応により欧米諸国は急速にデジタル化が進展しましたが、我が国はシステムの相互連携が進まず、デジタルトランスフォーメーション（DX）の遅れが顕在化しています。5年後10年後の社会を見据え、企業や業種をまたいだデータ連携を円滑に行うことができるデジタル基盤の構築や、複数のシステムが連携した際のシステム全体の安全性や信頼性の向上は重要な課題となっています。

本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より株式会社トラジェクトリーへの委託事業として、多様なデータ形態の空間情報を効率的かつ相互運用的に流通するため、特定の空間領域を識別するための識別子を「空間 ID」として定義し、空間 ID を通じてデータを連携する基盤を構築しています。

今回の実証実験は、豊川市及び新城市を事務局としたドローン・エアモビリティに関する官民協議会である東三河ドローン・リバー構想推進協議会等が協力し、下記のとおり実施します。

記

1 実証実験概要

以下の概要で実施を予定しています。

実証場所	国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所 一宮出張所 (豊川市東上町松本 254-2)
日程	10月12日 13時30分～
実験内容	3次元空間情報基盤を用いた下記の実証を行います。 <ul style="list-style-type: none">物流、鉄塔点検、空撮という3種類の異なるユースケースのドローンについて、構造物や機体同士が接触しない安全な航路の自動生成と、生成した航路の同時飛行を行います。異なる事業者が開発する複数システムが連携するドローンの運航管理を行います。ドローンの運航システムにおける有人ヘリコプターの接近検知と安全な退避の検証のため、御津臨海地区より実際にヘリコプターを飛行させ実証エリアに近づける検証を行います。

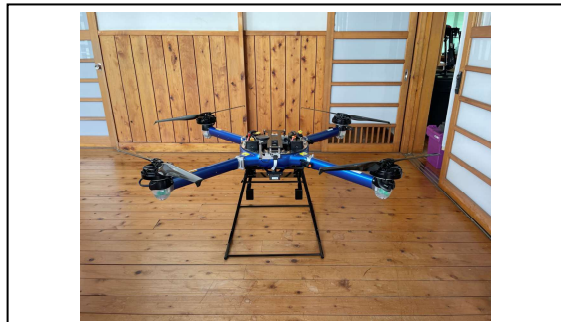
【使用予定のドローン】



DJI 社製

「Matrice300RTK」

- ・機体サイズ：810 mm×670mm
- ・機体重量：6.3kg
- ・推奨ペイロード（最大積載量）：500g
- ・飛行時間：30分
- ・耐風性能：15m/s



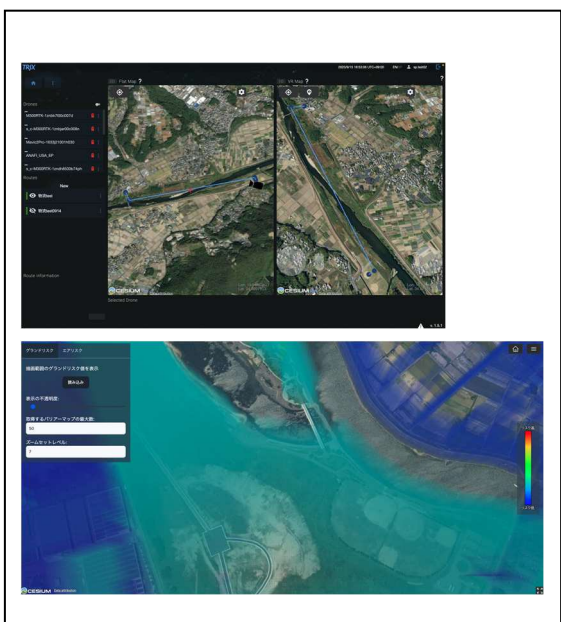
株式会社石川エナジー製

「Agri Flyer」

- ・機体サイズ：1,100mm×1,160mm
- ・機体重量：14.9kg
- ・推奨ペイロード（最大積載量）：10kg
- ・飛行時間：15分
- ・耐風性能：8m/s

【3次元空間情報基盤を用いた安全な航路生成】

株式会社トラジェクトリーは、「経済産業省 デジタルライフライン全国総合整備実現会議ドローン航路WG」、「IPA デジタルアーキテクチャデザインセンター（DADC）4次元時空間情報基盤アーキテクチャ検討会」に参画し、ドローンの安全な航路の社会実装を目指しています。



様々な地理空間情報を取り込んだ、株式会社トラジェクトリーの3次元空間情報基盤「空間情報管理システム」

- ・ドローン、3D都市モデル、地形データ、インフラ施設データ、グラウンドリスク等を空間IDの形式で3次元空間情報基盤に取り込み、データ連携する。
- ・リスク評価に基づき管理された空間の中で、ドローンの安全な飛行ルートを生成する。



【事業実施体制】

企業及び団体名	役割
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	・ 事業主体
株式会社トラジェクトリー	・ 開発、実証総括 ・ 3次元空間情報基盤提供 ・ ドローン運航管理システム提供
株式会社センシンロボティクス	・ 送電鉄塔、送電線点検システム提供 ・ 点検、空撮ドローンフライト
株式会社スカイピーク	・ 物流ドローンフライト
中部電力パワーグリッド株式会社	・ 送電鉄塔、送電線点フィールド提供
豊川市、新城市 東三河ドローン・リバー構想推進協議会 ※	・ 実証実験協力

※ 豊川市、新城市を事務局としたドローン・エアモビリティに関する官民協議会

【お問合せ先】

東三河ドローン・リバー構想推進協議会 事務局
豊川市役所 産業環境部 商工観光課 担当：柴田、橋本、竹下
TEL:0533-95-0263 FAX:0533-89-2125 Eメール：shoko@city.toyokawa.lg.jp

